

すべてのこどもたちにゆきとどいた教育を

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO. 10 2019年12月9日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

全国から教員・保護者・高校生が東京の「教育全国署名集約集会」に参加 全国集計で 389 万8834 筆になりました



報告する北海道私学のお母さん



高教組：左から本多さん・清水さん

「ゆきとどいた教育をすすめる会」は12月6日、東京で「教育全国署名集約集会」を開催し、北海道から道教組の新保、高教組の本多さん・清水さん（小樽）、北海道私教連の書記さん、保護者、北星女子高の生徒さんが参加しました。

「ゆきとどいた教育」の運動により、私学就学支援金が来年から引き上げられるという成果も生み出しています。また、北海道でも全国でも、小中学校の給食費補助が広がっています。

今年で31年目の署名運動になり、私学助成をすすめる会の署名と合わせ、当日の全国集計で389万8834筆、北海道は53,625筆（公立・私学）になっています。来年2月、国に提出します。

集約集会の前、私たちは全教に集まり、国会議員要請の意思統一を行い、道教組・高教組の3名は、北海道選出の国会議員（野党）約10名を訪問し、紹介議員要請行動を行いました。その日に訪問した山岡達丸議員（国民）から9日、承諾の回答が届きました。要請行動の成果が見えると元気が出ます。現在国会議員の紹介議員は、山岡議員以外に、紙智子議員（共産）、逢坂誠二議員（立憲）、神谷裕議員（立憲）となっています。また、道会議員の笠木薫議員からも（民主）9日、紹介議員を承諾するとの回答が届いています。12月14日は、北海道の教育全国署名集約集会を開催します。

12月14日（土）10：00～12：30 北海道高等学校教職員センター4階大会議室

「教育全国署名北海道集約集会・緊急シンポジウム」